

## 私学の魅力発信！ 新潟「私学のひろば2022」開催

11月3日(木・祝日)、新潟県長岡市を会場に新潟「私学のひろば2022」が開催され、県内各地から40人が参加しました。新発田市のイベント会場とライブ中継で結び、署名運動終盤のがんばりをともに決意する場となりました。

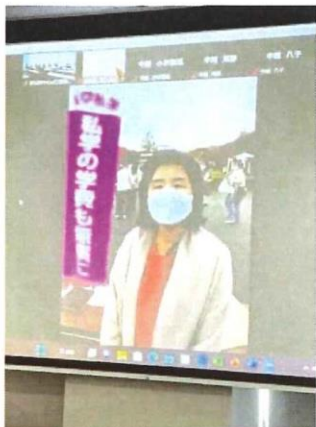
### にいがた私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に！

2022年11月11日

新潟県私学の公費助成をすすめる会  
新潟市中央区弁天橋通 1-13-13  
TEL 025-286-7600

# 父母・生徒・教職員の共同で私学の魅力発信！ 私学のひろば2022



新発田市の街頭宣伝場  
所から「私学のひろば」の  
開会あいさつをおこなう  
県私学の公費助成をすす  
める会の中村直美会長。  
(十一月三日 新発田市・  
イベント会場前より)



## 私学助成の大切さ、署名運動の重要さを再確認

三日、長岡市のまちなかキャンパス長岡を会場に「私学のひろば2022」が開催され、県内私立高校の父母・教職員ら四〇名リポート参加七名含むが参加しました。

第一部では、「いきいき私学発信」私学の魅力発信」と題して、各学校での生徒の活躍や行事、学校の特徴などを約五分間の映像にまとめ紹介がありました。参加者は、私学の良さや魅力をあらためて確認しました。

第二部では、全国私学助成をすすめる会共同代表の山口直之さんが「なぜいま私学助成署名なの？」とのタイトルで、私学助成の大切さや署名運動をとりくむ意義を資料をもとに参加者にわかりやすく語っていただきました。署名運動終盤での「ひろば」開催となった

### 新発田中央の教職員・父母が街頭イベント会場で署名とりくみ LIVE中継 署名200筆を集約

新発田中央父母の会と職員組合は3日、新発田市内のイベント会場で来場者に私学助成署名への協力を呼びかけました。来場者の中には卒業生やOB父母も通りかかり、すすんで署名する場面も見られました。約1時間半の行動で200筆の署名が集約されました。街頭宣伝行動の様子は、「私学のひろば」会場参加者にLIVE映像で伝えられました。



署名運動の意義をわかりやすく語った全国私学助成をすすめる会共同代表の山口直之さん。



企画「いきいき私学発信」の進行を務めた加茂暁星教員の長井拓さん(右)と渡辺拓さん(左)。各校紹介の合間での「掛け合い」は、息もぴったりと合っていました。

各県の署名中間集約の報告を11月15日(火)までにお願ひします。

ことからは、参加者は目標の達成にむけ、もうひと息頑張ろうとの思いをひとつにしました。以下は、参加者の感想です。  
○しばらく校舎に入れなかったのが、校内の映像と元気な子どもたちの姿が観れてうれしかったです。子どもが卒業した学校の校内や体育祭の様子など、とても懐かしかったです。その他、各校の様子が分かり全般的にとっても良かったです。(父母)  
○様々な学校で特色がいろいろあり、聴いていてとても楽しかったです。また、各学校生徒のたぐいに色々な工夫をして、日々の学校活動や行事を行っているのだなと思えました。また、施設の特徴が各学校でちがいがい、参考になる部分が多々ありました。(教職員)  
○署名が少なくなったときの怖さが分かりました。議員が無視できない署名数を集めることは、この私学助成の署名に携わる者の使命だと感じました。(教職員)  
○私立学校も公教育を担っているのですから、公立学校と同程度の公費補助は当然だと思えます。それを私立だから学費は高いのは「しょうがない」で済ませてはいけません。だともよくわかりました。その格差を何とかするために、できるだけ署名に取り組みたいと思います。(教職員)  
○国や県を見た目で動かすためにも署名は有効なものであることが再確認できました。段階的に拡充はされてきてはいますが、まだまだ不十分です。教育環境や労働環境をより健全なものにしていくために私も努めていきたいと考え直されました。(教職員)

## 県議会宛署名提出は12月1日(木)予定